

# 原発は差別の象徴

こいで ひろあき  
講師：小出 裕章さん

元京都大学原子炉実験所・助教



撮影：高橋勝視さん

## <小出裕章さんより>

COVID19の感染が収束できないまま、緊急事態宣言が出たり、取り消されたりしてきました。多くの日本人はそれに目を奪われていますが、2011年3月11日に発令された原子力緊急事態宣言は11年経った今も解除できないまま続いています。東京電力福島第一原子力発電所が破局的事故を起こしたためですが、その事故自体の収束は100年経ってもできません。生活を根こそぎ破壊されて流浪化した被害者たちの生活も100年経っても戻りません。その悲惨さについて、そして原子力そのものがもつ極端な差別性について聞いていただきます。

日時：2022年7月16日（土）午後2時～

会場：日本聖公会 名古屋聖マタイ教会・ホール（定員30名）

名古屋市昭和区明月町2-53-1（柳城短期大学向い）

\* 駐車場がありません。公共交通機関でお越しください。

オンライン（ZOOM）でもご参加いただけます。

**\* 要予約・参加費無料 \***

電話・メール・申し込みフォームのいずれかより、

**7/9 までにお申し込み下さい。**

※メール・申し込みフォームからの場合、3日以内に返信が無ければ下記にお問い合わせください。



地下鉄桜通線「御器所」駅下車  
4番出口 桜山方面に南下直進  
交番の角を右折



申し込みフォーム

主催：日本聖公会中部教区 名古屋学生青年センター後援会

お問合せ：TEL 052-781-0165 FAX 052-781-4334

Mail nyc.chubu@nssk.org